



令和7年度 寄 宿 舎 案 内



寄宿舎への道 四季

群馬県立渋川特別支援学校

〒377-0008 群馬県渋川市渋川 3641-2

TEL : 0279-24-4911

FAX : 0279-24-9599

ホームページ : <https://shibutoku-ses.gsn.ed.jp/>

(寄宿舎の日々の様子を随時更新していますので、ご覧ください) →



I 寄宿舎とは

遠距離により通学が困難な児童生徒を対象とし、通学を保障するための施設です。家庭の事情により通学が困難な児童生徒や、自立に向けた生活の支援を必要とする児童生徒の利用も可能です。学校の敷地内に併設されており、授業日に宿泊が可能です。週末や祝祭日、長期休業中は家庭へ帰省します。

現在のところ、各棟の階（フロア）ごとの舎生数について12名までを基準としています。病気などで緊急に送迎の必要が生じた場合に、確実に保護者が対応できることや、与薬以外の医療的ケアを必要としないことが条件の一つとなります。

II 校 訓

明るく つよく のびのびと

III 寄宿舎の沿革

昭和	54.	3.	31	寄宿舎竣工
〃		4.	16	第1回入学式、1学期始業式と同時に寄宿舎開舎
〃	60.	3.	19	南棟竣工（鉄筋コンクリート造2階建て）
令和	3.	1.	22	北棟・中棟外壁改修工事

IV 寄宿舎目標

将来の生活を考え、自分でできることを増やすために努力する人間を育てる。

- 1 <明るく>健康的な生活ができる児童生徒
- 2 <つよく>進んで日課に取り組み、毎日継続できる児童生徒
- 3 <のびのびと>他者と協調し、楽しく集団生活できる児童生徒
- 4 基本的な生活習慣や日常生活を豊かにする余暇活動を身につけた児童生徒

V 寄宿舎の指導・運営方針

寄宿舎生一人ひとりの特性や教育的ニーズを正しく理解することに努め、それを基にした指導を行う。

- 1 基本的な生活習慣や余暇の過ごし方について指導を行い、寄宿舎が楽しい生活の場となるようにする。
- 2 家庭と教員との連携を深め、常に共通理解の下に指導を行う。
- 3 学校の指導方針に沿った適切な生活指導を行うために、専門性の向上に努める。
- 4 集団生活の中で、助け合うことの良さを伝えたり、奉仕活動や就労への意欲を育てたりするための指導方法を工夫する。
- 5 共同生活で役割分担をする中で、協力することや優しくすることなどの人間として大切な心を育てる。

VI 学部・地域別寄宿舎生数

<学部別児童生徒数> 令和7年4月1日現在

学部	小学部	中学部	高等部	合計
男	2	7	36	45
女	1	6	5	12
計	3	13	41	57

<地域別児童生徒数> 令和7年4月1日現在

地域	渋川	前橋	高崎	利根・沼田	北群馬	吾妻	合計
人数	23	4	5	3	13	9	57

VII 日課

時 間	日 課
13:30	下校 (小学部)
15:00	下校 (小学部・中学部・高等部)
	余暇活動
17:00	配膳・夕食・歯磨き
17:45	入浴・洗濯
19:30	おやつ・歯磨き・余暇活動
21:00	身支度・就床
6:30	起床・身支度・清掃
7:30	ラジオ体操
7:40	配膳・朝食・歯磨き・登校準備
8:45	登校 (高等部)
8:50	登校 (小学部・中学部)



自治会活動



余暇



洗顔



入浴



水筒洗い



洗濯物干し



布団敷き



舎室の掃除機がけ

VIII 主な行事

1 学期	夏季休業日	2 学期	3 学期
新入舎生歓迎会 誕生会 食事会 夏まつり 避難訓練 寄宿舎保護者会	親子レクリエーション	クリスマス会 誕生会 食事会 避難訓練	お別れ会 誕生会 避難訓練 高3生の保護者を送る会

IX 見学・体験

本校への入学に際して寄宿舎利用を検討されている児童生徒や保護者、教育関係者の方で見学を希望される方は、電話でのお問い合わせを受け付けています。寄宿舎生活の様子については本校寄宿舎のホームページをご覧ください。寄宿舎生が卒業後の自立に向かい、集団生活の中で様々な日課に取り組んでいる様子が掲載されています。

X 行事の様子



天文教室



夏まつり



調理実習



お楽しみ会



ハロウィン



クリスマス会

XI 案内図



※ J R 上越線 渋川駅下車
関越交通バス「伊香保温泉」行き
グリーン牧場下車徒歩10分